

No



~ 夢と現実の狭間・奥津軽で太宰と飲む……津軽鉄道ハイボール列車、いざ、出発！ ~

津軽鉄道 ハイボール



列車

限定
100名



令和元年

11月17日(日)



Special guest

ロックフィッシュ
店主 間口一就氏

お一人様

¥7,000 (税込)

銀座ロックフィッシュ・間口一就氏と
美味なるハイボールが津軽鉄道に！

銀座のハイカラ……今の時代に太宰が生きていたなら
おそらく足繁く通ったであろう、銀座有数の人気を誇るバー
「ロックフィッシュ」の店主・間口氏とともに、ハイボールを楽しむ津軽鉄道の旅。
間口氏考案の、津鉄ハイボール列車オリジナルつまみもご堪能ください。



アルコール飲料の持ち込みは
ご遠慮ください

タイムスケジュール



- 11:45 津軽五所川原駅集合
- 12:15 ハイボール列車出発（津軽中里駅へ）
- 14:25 津軽五所川原駅着



太宰治 生誕

100th
ANNIVERSARY
1909 - 2019

津軽鉄道ハイボール列車は前日・前夜も面白い！

芥川賞作家大岡玲氏が
斜陽館で太宰を語る

「太宰と酒と津軽衆」

特別ゲスト：大岡玲氏（作家）
コーディネーター：山内史子氏（紀行作家）
オブザーバー：伊藤一弘氏
（太宰治記念館「斜陽館」館長）
ハイボール：間口一就（銀座「ロックフィッシュ」店主）

日時：令和元年11月16日（土）
17:30 開場 18:00 開演 20:00 終了
会場：太宰治記念館「斜陽館」米蔵
料金：4,000円（税込）「斜陽館」入館料、ハイボール、おつまみ付き
※通常の開館時（9:00～17:00）にもご入館いただけます。
定員：50名

実施概要

太宰と同じくらい酒とともに生きてきた3人が、作品に対する熱く甘く時に切ない思いや、金木の歴史、津軽の風土について語りあう、「ロックフィッシュ」のハイボール片手のほろ酔いトークセッション。

ここちよく歩く
DAZAI 文学散歩

「太宰の愛した奥津軽を“あさぐ”」

メインガイド：伊藤一弘氏
（太宰治記念館「斜陽館」館長）

日時：令和元年11月16日（土）13:30～15:30
集合場所：太宰治記念館「斜陽館」米蔵
料金：1,500円（税込）「斜陽館」入館料込、喫茶店「駅舎」珈琲付
定員：15名

実施概要

故郷・金木町を中心に、作品のモチーフになった場所をはじめゆかりの地を健やかに散策しながら、太宰のいた時代にタイムスリップ。今回のイベントにちなんだ特別ルートをご案内します。

便利なシャトルバスのご案内 ※運賃は別途頂戴いたします。

運行日
11月16日（土）青森駅～太宰治記念館「斜陽館」
11月17日（日）青森駅～五所川原駅

五所川原市周辺の宿泊も手配いたしますので、詳しくは事務局へお問い合わせください。



<五所川原飲食地域活性協議会 加盟店>

「ふくら」「魚酒房おが」「ドラंकモンキー」「串揚げ和香」
「餃子のマルユウ」「小料理ふく」「立ち飲み屋笑うかど」「めし処しょうふく」

※当日は混雑が予想されますので、空き状況を確認の上ご利用ください。

Profile



間口一就（まぐち・かずなり）
愛媛県出身。銀座のバー「ロックフィッシュ」のオーナーバーテンダー。つまみ作りの名手。ハイボールブームの火付け役であり、「宇宙ーおいしいハイボール」を作ると評判が高い。「バーの主人がこっそり教える味なつまみ」（柴田書店）などレシピ本も多数出版。



大岡玲（おおおか・あきら）
東京都出身、作家、東京経済大学経営学部教授。東京外国語大学大学院ロマンス系言語科修了。1989年に『黄昏のストーム・シーディング』で三島由紀夫賞、1990年に「表層生活」で芥川賞を受賞。近著「たすけて、おとうさん」（平凡社）には、太宰治の「トカトントン」をモチーフにした作品を収録。



山内史子（やまうち・ふみこ）
青森県出身、紀行作家、日本大学芸術学部文芸学科卒業。英国ペンギンブックス社勤務の後に独立。太宰治は高校の先輩にあたる。著書に「英国ファンタジーをめぐるロンドン散歩」（小学館）など。

主催：津軽鉄道ハイボール列車実行委員会

後援：青森県西北地域県民局 / 五所川原市

株式会社東奥日報社 / 五所川原飲食地域活性協議会

津軽鉄道株式会社 / NPO 法人かなぎ元気倶楽部

お問い合わせ：株式会社ブルーモリス 4-Ride（事務局）

TEL：080-2813-7192

E-Mail：northwind.4ride@gmail.com

Web：https://www.facebook.com/events/2411538669173067/

青森県知事登録
旅行業第 2-158 号

